平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名　兼房株式会社　　上場取引所　東 名
コード番号　5984　URL　http://www.kanefusa.co.jp
代表者　（役職名）取締役社長　（氏名）渡邉　将人
問合せ先責任者（役職名）常務取締役　（氏名）稲葉　公男　TEL 0587-95-2821
四半期報告書提出予定日　平成24年2月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	11,102	9.1	670	46.3	620	112.4	300	48.8
23年3月期第3四半期	10,178	24.7	458	―	292	―	202	―

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　149百万円　(242.5%)　23年3月期第3四半期　43百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	21.63	―
23年3月期第3四半期	14.54	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	21,144	17,417	82.4
23年3月期	21,077	17,461	82.8

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　17,417百万円　23年3月期　17,461百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	7.50	―	7.50	15.00
24年3月期	―	7.50	―		
24年3月期(予想)				7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	9.6	1,130	85.6	1,050	116.2	580	101.3	41.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

（注）詳細は、添付資料P.3「サマリー情報（その他）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	14,310,000 株	23年3月期	14,310,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	409,231 株	23年3月期	409,231 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	13,900,769 株	23年3月期3Q	13,900,797 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
４．補足情報 …… 10
（１）販売の状況（国内・海外別売上高、製品別売上高） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における世界経済は、米国では回復ペースが鈍化し、欧州では、ユーロ加盟国の財政・金融不安を背景に引き続き大幅なドル安・ユーロ安が続いております。アジア経済は、中国では金融引き締めの影響や、タイでは洪水被害があったものの全体としては堅調に推移しました。わが国経済は、東日本大震災の影響から持ち直しの動きが見られたものの回復ペースは年末にかけ鈍化しました。

当社製品と関係の深い国内住宅産業では、新設住宅着工戸数は、一時回復の兆しが見られたものの、その後前年比マイナスが続き依然厳しい状況となりました。また自動車関連産業は、10月にタイの洪水被害により一時的に影響は出たものの、その後徐々に回復傾向で推移しております。

このような状況のもと、当社グループはグローバル市場での販売拡大、海外生産の増強、非住宅関連市場の開拓、国内住宅関連市場の占有拡大などを目指し、戦略的な製品開発、生産、営業活動を展開いたしました。国内における売上は、木工用丸鋸やダイヤ製品などが増加し、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに堅調に推移しました。一方海外での売上は、欧州、米国及びアジア市場を中心に金属用丸鋸などが好調に推移しました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は111億２百万円（前年同期比9.1％増）となりました。

利益面につきましては、営業利益は６億７千万円（前年同期比46.3％増）となり、営業外費用で為替差損６千７百万円を計上したことなどから、経常利益は６億２千万円（前年同期比112.4％増）となり、特別損失で投資有価証券評価損４千３百万円を計上したことなどにより、四半期純利益は３億円（前年同期比48.8％増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①　日本

国内では住宅・非住宅関連刃物ともに総じて増加し、海外では金属切断用丸鋸が大幅に増加したことなどにより、売上高は103億４千５百万円（前年同期比8.9％増）となり、売上高が堅調に推移したことから、営業利益は５億８千３百万円（前年同期比113.2％増）となりました。

②　インドネシア

木工用丸鋸や製紙用刃物などが減少したものの、合板用刃物などが増加し、売上高は９億８千６百万円（前年同期比0.3％増）となりました。利益面では、ストライキは終息したものの、生産体制の回復の遅れなどから採算性が悪化し、営業損失は４千９百万円（前年同期は４百万円の営業損失）となりました。

③　米国

金属切断用丸鋸などが増加したものの、製本紙工用刃物などが減少し、売上高は５億３千万円（前年同期比8.6％減）となりました。利益面では、経費削減などにより営業利益は６千８百万円（前年同期比39.1％増）となりました。

④　欧州

金属切断用丸鋸や木工用丸鋸などが増加し、売上高は９億１千４百万円（前年同期比16.8％増）、営業利益は１億５百万円（前年同期比61.0％増）となりました。

⑤　中国

金属切断用丸鋸や木工用丸鋸などが増加し、また、昆山兼房精密刀具有限公司を新たに連結の範囲に含めたことから、売上高は10億２千３百万円（前年同期比77.9％増）、営業利益は５千６百万円（前年同期比27.5％増）となりました。

なお、セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期末においては、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べて現金及び預金が２億７千６百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が１億４千７百万円増加、商品及び製品が５千５百万円増加、仕掛品が４千４百万円増加、原材料及び貯蔵品が１億８千１百万円増加し、また、有形固定資産が９千３百万円増加、投資その他の資産が１億３千６百万円減少したことなどにより、総資産は前期末比６千６百万円増加して211億４千４百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が１億１千２百万円増加し、賞与引当金が２億３千５百万円減少、流動負債その他が３億３千２百万円増加したことなどにより、前期末比１億１千万円増加して37億２千７百万円となりました。

純資産では、利益剰余金が１億２千１百万円増加したものの、その他の包括利益累計額が前期末比１億６千５百万円減少したことなどにより、前期末比４千３百万円減少して174億１千７百万円となりました。また、自己資本比率は前期末の82.8％から82.4％となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成23年10月28日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第１四半期連結会計期間より、昆山兼房精密刀具有限公司（中国）を連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,776,591	3,500,583
受取手形及び売掛金	3,990,659	4,138,138
商品及び製品	1,284,800	1,340,713
仕掛品	670,264	714,680
原材料及び貯蔵品	1,321,039	1,502,552
その他	890,464	863,179
貸倒引当金	△27,170	△24,622
流動資産合計	11,906,648	12,035,225
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,802,793	2,691,455
機械装置及び運搬具（純額）	2,964,493	2,996,885
その他（純額）	2,033,557	2,206,473
有形固定資産合計	7,800,844	7,894,813
無形固定資産	162,227	142,877
投資その他の資産	1,207,955	1,071,626
固定資産合計	9,171,027	9,109,317
資産合計	21,077,675	21,144,543

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,713,652	1,825,982
未払法人税等	44,642	27,370
賞与引当金	333,562	98,186
その他	757,038	1,089,978
流動負債合計	2,848,896	3,041,518
固定負債		
退職給付引当金	536,589	488,167
その他	231,028	197,409
固定負債合計	767,618	685,577
負債合計	3,616,515	3,727,095
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142,500	2,142,500
資本剰余金	2,167,890	2,167,890
利益剰余金	13,569,585	13,691,203
自己株式	△208,420	△208,420
株主資本合計	17,671,555	17,793,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	194,046	116,201
為替換算調整勘定	△404,442	△491,927
その他の包括利益累計額合計	△210,395	△375,725
純資産合計	17,461,160	17,417,447
負債純資産合計	21,077,675	21,144,543

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	10,178,000	11,102,941
売上原価	6,858,183	7,437,254
売上総利益	3,319,817	3,665,687
販売費及び一般管理費	2,861,533	2,995,270
営業利益	458,283	670,417
営業外収益		
受取利息	2,834	4,030
受取配当金	14,509	16,539
保険配当金	8,961	9,469
助成金収入	6,025	－
その他	15,551	12,373
営業外収益合計	47,882	42,412
営業外費用		
売上割引	23,648	23,896
為替差損	190,233	67,535
その他	110	699
営業外費用合計	213,992	92,131
経常利益	292,173	620,697
特別利益		
固定資産売却益	1,651	1,083
会員権売却益	－	176
特別利益合計	1,651	1,260
特別損失		
固定資産除却損	8,136	6,870
会員権評価損	－	900
投資有価証券評価損	1,725	43,239
役員退職慰労金	20,397	－
特別損失合計	30,258	51,009
税金等調整前四半期純利益	263,566	570,947
法人税等	61,426	270,231
少数株主損益調整前四半期純利益	202,139	300,715
四半期純利益	202,139	300,715

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	202,139	300,715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,339	△77,844
為替換算調整勘定	△148,289	△73,867
その他の包括利益合計	△158,629	△151,712
四半期包括利益	43,509	149,003
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	43,509	149,003
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	計
売上高						
外部顧客への売上高	7,950,127	853,496	580,967	782,655	－	10,167,247
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,552,699	130,040	－	71	575,569	2,258,380
計	9,502,827	983,536	580,967	782,726	575,569	12,425,627
セグメント利益又は損失（△）	273,609	△4,484	49,310	65,485	44,059	427,980

	その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
売上高				
外部顧客への売上高	10,753	10,178,000	－	10,178,000
セグメント間の内部売上高又は振替高	52,200	2,310,580	△2,310,580	－
計	62,953	12,488,581	△2,310,580	10,178,000
セグメント利益又は損失（△）	5,526	433,506	24,776	458,283

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の警備・環境整備、損害保険代理業務などの周辺業務請負事業であります。

２．セグメント利益の調整額24,776千円には、セグメント間取引消去△17,569千円、のれんの償却額△4,709千円、棚卸資産の調整額45,633千円、その他1,421千円が含まれております。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国 （注）４	計
売上高						
外部顧客への売上高	8,379,188	928,562	530,877	914,477	340,299	11,093,404
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,966,498	57,578	45	104	683,462	2,707,688
計	10,345,687	986,140	530,922	914,581	1,023,761	13,801,093
セグメント利益又は損失（△）	583,353	△49,185	68,607	105,413	56,175	764,364

	その他 （注）１	合計	調整額 （注）２	四半期連結損益計算書計上額 （注）３
売上高				
外部顧客への売上高	9,537	11,102,941	－	11,102,941
セグメント間の内部売上高又は振替高	135	2,707,823	△2,707,823	－
計	9,672	13,810,765	△2,707,823	11,102,941
セグメント利益又は損失（△）	3,340	767,704	△97,287	670,417

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理店業務などであります。

２．セグメント利益の調整額△97,287千円には、セグメント間取引消去△79,815千円、棚卸資産の調整額△24,559千円、その他7,087千円が含まれております。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４．第１四半期連結会計期間より、昆山兼房精密刀具有限公司を連結範囲に含めたことに伴い、「中国」の外部顧客への売上高は281,945千円、セグメント間の内部売上高又は振替高は2,725千円、セグメント利益は31,141千円それぞれ増加しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

４．補足情報

（１）販売の状況

① 国内・海外別売上高

（単位：百万円、%）

	前第３四半期実績		当第３四半期実績		前年同期比	24年３月期通期計画	
	金　額	構成比	金　額	構成比		金　額	構成比
国　内	6,723	66.1	7,112	64.1	105.8	9,510	63.4
海　外	3,454	33.9	3,990	35.9	115.5	5,490	36.6
アジア	1,848	18.2	2,163	19.5	117.0	3,050	20.3
アメリカ	609	6.0	660	5.9	108.4	860	5.7
ヨーロッパ	851	8.4	1,023	9.2	120.2	1,410	9.4
その他	143	1.4	142	1.3	98.8	170	1.2
合　計	10,178	100.0	11,102	100.0	109.1	15,000	100.0

② 製品別売上高

（単位：百万円、%）

	前第３四半期実績		当第３四半期実績		前年同期比	24年３月期通期計画	
	金　額	構成比	金　額	構成比		金　額	構成比
平刃類	3,513	34.5	3,753	33.8	106.9	5,040	33.6
カッター類	2,472	24.3	2,564	23.1	103.7	3,440	22.9
丸鋸類	4,004	39.3	4,639	41.8	115.9	6,300	42.0
商　品	188	1.9	144	1.3	76.7	220	1.5
合　計	10,178	100.0	11,102	100.0	109.1	15,000	100.0